

平成23年3月期決算発表 補足資料

平成23年5月12日
日本ガイシ株式会社

□ はH23/3見通し

	22年3月期		23年3月期		前期比	24年3月期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		見通し	構成比	
売上高合計	2,355	100%	2,380 2,394	100%	102%	2,600	100%	109%
<海外売上高合計>	<1,221>		<1,258>			<1,330>		
電力関連事業	873	37%	520 539	22%	62%	800	31%	149%
営業利益(%)	80	(9%)	△75 △81	-	-	△30	-	-
セラミックス事業	1,017	43%	1,250 1,243	52%	122%	1,200	46%	97%
営業利益(%)	132	(13%)	305 311	(25%)	236%	250	(21%)	80%
エレクトロニクス事業	469	20%	610 617	26%	132%	600	23%	97%
営業利益(%)	23	(5%)	90 91	(15%)	398%	80	(13%)	88%
セグメント間売上消去	△4		△5			-		
営業利益(%)	235	(10%)	320 322	(13%)	137%	300	(12%)	93%
経常利益(%)	249	(11%)	320 327	(14%)	132%	320	(12%)	98%
当期純利益(%)	178	(8%)	240 245	(10%)	137%	230	(9%)	94%
ROE	6.1%		8.0%			7.4%		
1株利益	54.5円		74.9円			70.4円		
配当性向	29.4%		26.7%			28.4%		
設備投資	209	9%	253	11%	121%	300	12%	119%
減価償却費	189	8%	190	8%	101%	200	8%	105%
研究開発費	107	5%	114	5%	107%	115	4%	101%
為替レート(円/\$)	94		88			80		
為替レート(円/ER)	130		116			110		

平成23年3月期 連結業績の要点

- ① 概況 3期ぶり前期比増収増益。セラ・エレ堅調も電力は大幅な落込み。

電力関連は、がいし・NAS 電池ともに低調で大幅な減収。セラミックスは自動車関連製品で新興国を中心とする自動車販売台数の回復等を受けた物量増により増収。エレクトロニクスも半導体製造装置用セラミックスを中心に需要が回復し増収。全社では円高によるマイナス影響や電力関連の落込みをセラミックスやエレクトロニクスの増加でカバーして前期比増収。利益も増収効果や生産性の改善等により前期比増益。

- ② 為替影響 売上△98億円、営業利益△35億円（前期 94円/\$→当期 88円/\$、前期 130円/ER→当期 116円/ER）

- ③ 事業別業績概況

電力関連：前期比 334億円の減収（為替影響△11億円）。がいしは中国市場の需要低迷や円高影響により大幅な減収。NAS 電池は海外プロジェクトの遅延及び返品を受けたことなどから大幅な減収。利益は売上高の大幅な減少、生産性の低下、円高影響により 161億円の大幅な減益（為替影響△3億円）。

セラミックス：前期比 226億円の増収（為替影響△69億円）。自動車関連製品は新興国を中心とした自動車販売台数の回復や排ガス規制強化による需要増により円高影響を吸収して大幅な増収。一方、産業プロセス関連は客先設備投資が引続き低調なことに加え、震災影響により一部案件の出荷繰延べもあり減収。利益は自動車関連製品の大幅な売上高増加や生産性改善等により円高影響を吸収して 179億円の増益（為替影響△19億円）。

エレクトロニクス：前期比 148億円の増収（為替影響△18億円）。ベリリウム銅展伸材は市況回復により増収。半導体製造装置用セラミックス製品は半導体メーカーの設備投資回復による需要増により増収。インダストリアル用機能部品の需要も堅調に推移。双信電機は情報通信及び産業機器向けの需要が回復し増収。利益は売上高の増加により円高影響を吸収して 68億円の増益（為替影響△13億円）。

- ④ 震災影響 売上高：△15億円、営業利益：△8億円

- ⑤ 配当：期末配当金を 10円とし、中間配当金 10円とあわせて年間 20円の予定。

平成24年3月期 連結業績見通しの要点

- ① 概況 前期比増収減益。震災によるマイナス影響もあり先行きは不透明。

電力関連は、がいしが震災影響等により引続き低調も前期に大きく落ち込んだ NAS 電池の回復により、前期比では大幅な増収の見通し。セラミックスは自動車関連製品の需要が堅調なものの、震災影響や値引きもあり減収の見通し。エレクトロニクスは円高に加え震災影響による需要の減少もあり減収の見通し。利益は売上高が増加する一方、円高影響や国内外の新拠点立上げ費用もあり減益の見通し。

- ② 事業別業績見通し

電力関連：前期比増収。がいしは中国市場の需要が引続き低調なほか、国内も震災による需要減により減収。NAS 電池は、国内電力不足から需要拡大を見込み、返品を受けた前期からは大幅な増収。利益は NAS 電池が大幅に改善するもののがいしの低迷や円高影響等もあり前期比では増益も営業損失が残る見通し。

セラミックス：前期比減収。自動車関連は新興国を中心に需要が堅調に推移する一方で、震災影響により国内の自動車生産が落ち込むほか値引きもあり減収の見通し。産業プロセス関連は震災による設備投資案件の中止・延期があるものの、環境エネルギー分野での需要増加や前期からの繰延べもあり増収の見通し。利益は自動車関連製品の売上高減少や円高影響に加えて国内外の新拠点立上げ費用もあり前期比で減益の見通し。

エレクトロニクス：前期比減収。ベリリウム銅展伸材は為替円高や震災による需要減があるものの前期並みの見通し。半導体製造装置用セラミックス製品は半導体市況の改善に伴う半導体メーカーの設備投資増を見込み堅調。電子部品は震災等による需要減により減収。双信電機は前期並みの見通し。利益は売上高の減少や為替円高により前期比で減益の見通し。

- ③ 震災影響 売上高：△107億円、営業利益：△54億円

- ④ 為替影響 連結：売上△78億円、営業利益△20億円（前期 88円/\$→当期 80円/\$、前期 116円/ER→当期 110円/ER）

- ⑤ 配当見込み：中間配当金 10円、期末配当金 10円の年間 20円の予定。

平成23年3月期 決算発表 補足資料(第2四半期累計見通し)

平成23年5月12日
日本ガイシ株式会社

	22年3月期 第2四半期累計期間		23年3月期 第2四半期累計期間		24年3月期 第2四半期累計期間		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	見通し	構成比	
	億円		億円		億円		
売上高合計	1,034	100%	1,200	100%	1,150	100%	96%
<海外売上高合計>	<495>		<653>		<670>		
電力関連事業	391	38%	296	25%	250	22%	84%
営業利益 (%)	37	(9%)	△ 42	-	△ 40	-	-
セラミックス事業	442	43%	594	50%	600	52%	101%
営業利益 (%)	31	(7%)	154	(26%)	115	(19%)	75%
エレクトロニクス事業	202	19%	312	26%	300	26%	96%
営業利益 (%)	△ 5	-	54	(17%)	35	(12%)	65%

セグメント間売上消去 △ 1 △ 2 -

営業利益	63	6%	166	14%	110	10%	66%
経常利益	58	6%	144	12%	100	9%	69%
四半期純利益	37	4%	110	9%	70	6%	64%

設備投資	97	9%	124	10%	180	16%	145%
減価償却費	90	9%	91	8%	90	8%	99%
研究開発費	51	5%	51	4%	55	5%	108%

為替レート(円/\$) 95 91 80
為替レート(円/ER) 128 121 110

平成24年3月期 第2四半期累計期間 連結業績の要点

電力関連は震災により国内がいし需要が減少するほか、NAS 電池も引続き低調で前年同期並みの営業損失となる見通し。
セラミックス事業は自動車関連製品で新興国を中心とした需要が堅調な一方、震災影響による国内需要の減少や為替円高、新拠点の立上げ費用等により減益の見通し。エレクトロニクス事業は半導体製造装置用セラミックスが堅調も、為替円高や前年同期に高水準だったインクジェットプリンター用機能部品の需要減により減収減益の見通し。
全社では前年同期比で減収減益となる見通し。